

高槻市市民公益活動 サポートセンターニュース

e-mail:koueki-suport1504@aurora.ocn.ne.jp

http://www.takatsuki_kouekisuport.com/

発行 2006年(平成18)4月15日
高槻市市民公益活動サポートセンター
住所 〒569-0056 高槻市城南町3-1-1
西大冠小学校内
電話 072-674-3400
Fax 072-674-3401

自らの力で住み良い地域社会を築いていく・・・

行政と協働で課題解決を!

平成18年度協働活性化モデル事業

あなたの団体も応募しませんか

高槻市は、平成17年度に実施した協働活性化モデル事業を18年度も引き続き募集されます。「協働活性化モデル事業」は、地域の課題解決や市民サービスの向上に向けたまちづくりを目指して、公益活動に取り組む市民団体から、市行政と協働して取り組む企画案を市が募集し、協働により効果が高まると期待されるものなどを選考委員会が、公開選考を行い、市長が採択するものです。

応募方法等は、市ホームページか市広報(4月25日号)でお知らせいたしますが、説明会も開催いたしますので、ご参加ください。当サポートセンターへもご相談ください。

募集期間：平成18年4月25日(火)～同年5月19日(金)

説明会：日時 平成18年5月1日(月)午後7時～ 会場 高槻市総合センター6階C601

問合せ：高槻市市民協働部市民参画室コミュニティ推進課(Tel:674-7462)及び当市民公益活動サポートセンター(Tel:674-3400)

17年度に採択された協働活性化モデル事業

	事業名及び提案団体名	事業内容
高槻市事業	高槻産間伐材でベンチを作ろう NPO法人森のプラットフォーム高槻	高槻の民有林での間伐材を伐採し、里山の保全を図ると共に、ベンチを製作して市バス停留所・公園等で利用してもらおう。
	子育てシンポジウムの開催 NPO法人高槻子育て支援ネットワーク ティビー	「つどいの広場」を実現するための第一歩としてシンポジウムを開催する。
	原地区環境保全(自然環境を守る会) 原地区環境保全会	地域山間部等でのゴミの不法投棄を防止するためのパトロールやゴミの回収、防護柵の設置等を行う。
総務省委嘱事業	けやきの森植林事業 高槻里山ネットワーク	市民の木と花であるけやき・うの花を市民自らが植林植栽し、里山の保全、市民の憩いの場、自然環境教育の場とする。
	小中学生と共に育つ高校生・青年リーダーシップ講座と実践 NPO法人三島子ども文化ステーション	市内の子どものかわりたいたいという思いを持った青年・高校生を募集し、子どもたちとの遊びを通じた交流を図る。
	多文化交流によるまちづくり 海外協力グループ“クスクス”	高槻市在住の外国人と「異文化理解のフォーラム」を開催し、相互理解の促進を図る。
	生活習慣病予防レシピの作成と活用 高槻市地域活動栄養士	生活習慣病予防のためのレシピを作成、講習会等で販売する。
	樫田地区環境保全 樫田地区連合自治会(不法投棄防止ボランティア)	地域山間部等のゴミの不法投棄を防止するためのパトロールや防護柵の設置等を行う。

賑やかに交流しました “フェスタ 2006” 開催

(3/4 生涯学習センター展示ホール)

市内公益活動団体 35 団体が参加して「市民公益活動▲たかつきフェスタ 2006」が、開催されました。これは市内で活動している市民公益活動団体が一堂に会したもので、市民・団体・行政がつながり、相互に理解と協力を深めるために、開かれたものです。「フェスタ」は高槻市と高槻市民活動ネットワークの協働により開催され、高槻市市民公益活動サポートセンターも、協力団体として参加しました。当日は奥本市長の挨拶に続き「NANIWA 娘」の子どもたちによるチアダンスで華やかにオープン。延べ約 500 人の来場があり、にぎやかな催しになりました。

午前はパネルディスカッション「NPOと行政の協働で描こう！みんなでつくるまち～高槻市&他市の実践から学ぶ」が開かれ、地域からも行政からも信頼され、先駆的な課題解決力を有した自立した団体を目指そうとの提案がありました。午後からは参加団体の紹介と団体それぞれの特色あるパフォーマンスの発表。スタンプラリーには 240 人が挑戦。クイズに答えて景品をもらう親子の姿も。「喫茶コーナー」では予想を大きく上回り、約 400 人に飲み物を提供しました。締めくくりの「オークション」では売り上げ金が 21000 円あり、ユニセフに寄付されました。



▲工夫をこらして展示されたブース

来場者からのアンケートでは、家庭的な楽しいフェスタで、さまざまな市民活動団体を知り、活動に参加する機会を持てたとの声や、一般の市民にも広く知らせて、広がりのあるフェスタを今後も望むとの意見も寄せられました。

サポートセンター自主講座にご参加ください

サポートセンターでは、昨年パソコン入門講座、編集講座、会計講座、ホームページ作成講座を開催してきました。今年度もニーズにそった講座を開催していく予定です。希望の講座があれば積極的にご参加ください。受講料は 1 回当たり 500 円(時間は約 2 時間)。パソコンが必要な場合は持込が原則ですが、1 回 250 円で貸し出しもしています。詳しい日程等は改めてお知らせします。

パソコン入門講座

5～6 名の希望者が集まれば 1 クール 12 回程度の講座を開きます。ご要望をお寄せください。

編集講座

活動団体の機関紙の編集と作成の基礎的技術について 1 クール 4 回程度の講座を開催しています。今年度もより実践的な編集・作成講座の開催を計画しています。

講座は次の項目を中心に行ないます。

- 第 1 回 新聞について知る。(5W1H)
- 第 2 回 編集の原則
- 第 3 回 記事の選定
- 第 4 回 見出しとレイアウト



会計講座

NPO 活動団体の実態を財政面から(事業・活動)を客観的に把握することを目的にしています。

内容は

- 第 1 回 一般的な簿記・会計の仕組み
- 第 2 回 決算(複式簿記の原則)
- 第 3 回 事業計画の策定
- 第 4 回 税務申告及び節税対策
- 第 5 回 資金計画の立て方

ホームページ作成講座

ホームページは IT 情報化時代に合致した情報発信手段です。しかし、その立上げや更改に苦慮している団体もあり、今後もそのお手伝いをしたいと思います。

内容は

- 第 1 回 ホームページビルダーの基本操作
- 第 2 回 表を使ってレイアウト
- 第 3 回 オリジナル画像の作成
- 第 4 回 ホームページの更新

シリーズ:市民公益活動の現場から ・ 第2回「街かどデイハウス連絡会」

介護保険制度が導入されて、介護保険サービスで自立と認定される高齢者及びやや虚弱な高齢者を対象に介護予防を目的とした「街かどデイハウス」ができました。正式には「生きがい活動支援通所事業」といい、高齢者の自立支援のための制度で、おおむね65才以上を対象とした日帰り型サービス。基本的には利用は週一回です。一時間57円でほとんどの人は終日(6時間)利用されています。歩いていける範囲を対象にしていますが、近くにない場合は乗り物を利用しての来所も可能です。現状と今後の課題を、街かどデイハウス連絡会の方々に伺いました。

「生きがいを持って自立！」を支援する

地域での身近な街かどを めざして

施設の設置に際しては、週3日以上開所し、一回に5人以上の利用者がいることが、市からの委託の条件になっています。大阪府は平成9年からこの取り組みを始めました。高槻市の事業所第一号は「高槻まごころ」で平成12年開設。現在市内には9箇所あり、市では平成20年度までに12箇所を目指しています。

現在、ひと月あたり延べ約1000の方が利用されています。

工夫をこらしたプログラムで

プログラムは事業所ごとに独自の工夫をしています。折り紙・絵手紙・手芸など手先を使うもの、麻雀・囲碁・パソコンなど脳の活性化を目指した取り組みを行なっています。利用者が講師をつとめる場合もあります。

そんなプログラムのうち、各施設に共通しているのは、生活のリズムを整え、

体調を管理し、介護予防のための体操をしていること。

昼食づくりを、利用者が手伝っているところもあるが、基本的にはスタッフが作っています。

通所回数がふえたら・・・

利用者の年齢は、男性は70歳前半が多く、女性は70歳後半の方が多い。

定期的に「街かどデイハウス」に行くことで生活にリズムができるようになります。特に独居の方にはメリハリがつけられる。家族はもちろん、近所の人たちも通所の日を覚えていてくれて気をつけて見てもらえることもあります。

一番大きな問題は、週一回の利用ではなかなか成果が上がらないこと。独居、特に引きこもりがちの人には、通所回数が増えれば人との触れ合いも増し、刺激を受け、より元気になれるのに・・・。

現行の制度に限界はあるにしても、利用している人に少しでも介護予防

のお手伝い・アドバイスができればとがんばっています。

これからの「街かどデイハウス」

「街かどデイハウス」の存在はまだまだ知られていないので、連絡会では機会あるごとに宣伝しています。

連絡会を作ったことで行政との連携もしやすくなりました。介護予防の現場と制度のスキマをどう埋めるか、利用者にとってどうあるのが一番いいのかに主眼をおいて、行政との協働を考えていきたい。また、団体間の情報交換など相互交流ができ、研鑽することができるようになったことも今後の活動にプラスになっていこうと思われれます。



手先を使って頭の体操

食事もおしゃべりもごちそう



現在市内で開設している施設

高槻まごころ	東五百住町2-32-9	690-6198
晴耕雨読舎	奈佐原933	696-0131
きららの家	原1109	688-0842
アライブ西冠	西冠1-24-1	675-8228
つといの家はむろ	土室町36-5	696-8420
デイハウスゆうゆう	大冠町3-13-1	673-6055
とつりゃんせ	大蔵司1-8-25	683-0622
なごみの家	栄町3-14-14	694-6062
北摂すまいるハウス	宮田町3-56-1	693-2989

登録団体 活動の広場



『特定非営利法人つむぎの家』 ～高齢者が楽しく安心して暮らせる

地域づくりを目指して～

平成 15 年 1 月 旧市街の住宅地の中に N P O 法人つむぎの家は誕生しました。1 階は小規模のデイサービス、2 階は 6 人ワンユニットのグループホームです。

利用者様は、ホームの近隣の方が多く、まさに地域に根ざした事業所です。そして家庭の延長という言葉がぴったりあてはまる雰囲気がつむぎの家の特徴でもあります。昼食を例にとっても、アイデアを活かした家庭での手作りの味をそのまま持ってきたようなお料理で、利用者様にも好評です。スタッフは利用者様の自立を支援し、又、ご本人を尊重し、穏やかに生活ができるようにお話しすることを日々心がけています。

この 2 月から新たに、「デイサービスセンターつむぎの家」と「グループホームつむぎの家」を開設しました。高齢者福祉の地域での拠点としてまた医療との連携も図り、安心して住みなれた地域での生活が継続できるようこれからもサービスを提供しています。

理事長 高井 喜美子

〒569-0814 高槻市富田町 5 丁目 1 6 - 6

072-697-3692 fax 072-697-5127

『空とぶアヒル』 ～子どもたちの笑顔が

活動のエネルギー～

空とぶアヒルは「子どもの文化を考え学び、実践に生かそう」を目的に、おはなしボランティア・家庭文庫・子育て中の方・子どもに関わる活動をしている方、が集まり月に一回学習したり交流したりしているグループです。

活動は、月曜日午前中、交流センターや城内公民館などで行なっています。

会費は新規で、2,000 円/年、継続は、1,800 円/年、ピジターは、600 円/回です。2005 年度の会員は、30 名でした。

学習内容はおはなし会に役立つ人形作りや、絵本・わらべうたについての講座等です。

年間計画のチラシがあります。関心のある方はお問合せ下さい。会員の方は、図書館・幼稚園・小学校などで活動している人も多いです。「空とぶアヒル」としても要望があれば子育てサークルなどへ手作り人形やパネルシアター・紙芝居などを持って「おはなしの出前」を行なっています。

『空とぶアヒル』運営委員長 赤土 悦子

072-682-6989

サポートセンターからのお願い

サポートセンターでは、登録団体の活動状況やイベント企画などの情報を募集しています。ホームページ上でも掲載させていただきますので、情報をどしどしお寄せ下さい。

- ・「登録団体の活動の広場」原稿募集・・・450 字程度(写真も可)
- ・イベント情報・・・主催・内容・日時または期間・会場映像など

* ホームページの場合は随時、ニュースの場合は発行月の 3 ヶ月先まで

e-mail:koueki-suport1504@aurora.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.takatsuki-kouekisuport.com/>



編集後記 桜の開花が予想より遅れましたが、入学式には花のトンネルが子どもたちを迎え、期待と不安の新学期が始まりました。サポートセンターは新年度に向けて準備をしています。登録していただいている団体が生き生きと活動できるサポートを、そしてたくさんの発信情報を、お届けしたいと思っています。そのためにも「ニュース」や「ホームページ」にみなさんからの投稿やご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。



(M . K)